

中国の保育における ICT 活用の現状と課題

東洋大学 福祉社会デザイン研究科 ヒューマンデザイン専攻 博士後期課程
福祉社会開発研究センター RA
尹 暁珊

キーワード：保育、ICT、オンライン、子育て支援

そこで本稿では、中国の保育におけるICTを活用している状況の検討を通し、中国の保育におけるICTを活用の現状と課題を明らかにすることを目的とする。

1. はじめに

現在の中国社会において、ICTは衣服・食事・居住・交通などの方面に浸透し、活用されているようになった。このことにより、国民の生活は便利になった。保育分野にICTが活用されることは例外ではない。

2019年5月9日に中国の国務院は「0～3歳の乳幼児のケアサービスを促進する指導意見」を公布した。その主要任務として、「乳幼児の早期発達教育を強化するために、家庭訪問を通して子育て支援をし、親子活動への指導、保護者への育児講座の開講などの方策で子育て家庭に育児支援を行う。また、インターネットなどの手段を通して、子育て家庭に子ども早期発達サービスを提供し家庭内の育児の能力を高める。」ということが定められた。この指導意見では、地方にその実施を求めている。そのため、全国の保育事業ではインターネットによる家庭育児への支援が発展していくと考えられる。加えて、2020年新型コロナウイルス感染症が流行している影響により、多くの社会活動が様々な面で制限を受けることになった。現在整備の途上段階にある保育も制限を受けている。こうした背景により、急速に中国ではICT情報機器を駆使し、子育て家庭にオンラインで行う育児支援が検討されるようになってきたと考えられる。

用語の説明

本稿で使う「保育従事者」は「保母」、「月嫂」、「育嬰師」、「保育員」を指す。

- ・「保母」は子どもの月齢を問わず、日常生活で子どもをケアと家庭内の家事をする役割を果たしているもの。
- ・「月嫂」は生後一ヶ月の新生児をケアすると同時に、母親に子どもを養育するアドバイスを提供することと、産後の母親に栄養豊富な食事を提供する役割を果たすもの。
- ・「育嬰師」は乳幼児を保育と教育する役割を果たすもの。
- ・「保育員」は育嬰師の補助役として保育施設における生活・環境衛生・保健面の保育を担当する役割を果たすもの。

2. 中国の保育におけるICTを活用する現状

本稿では中国の保育におけるICTの活用の実態を明らかにするために、中国の保育におけるICTを活用している現状を、(1) 中国でのオンラインによる子育て支援、

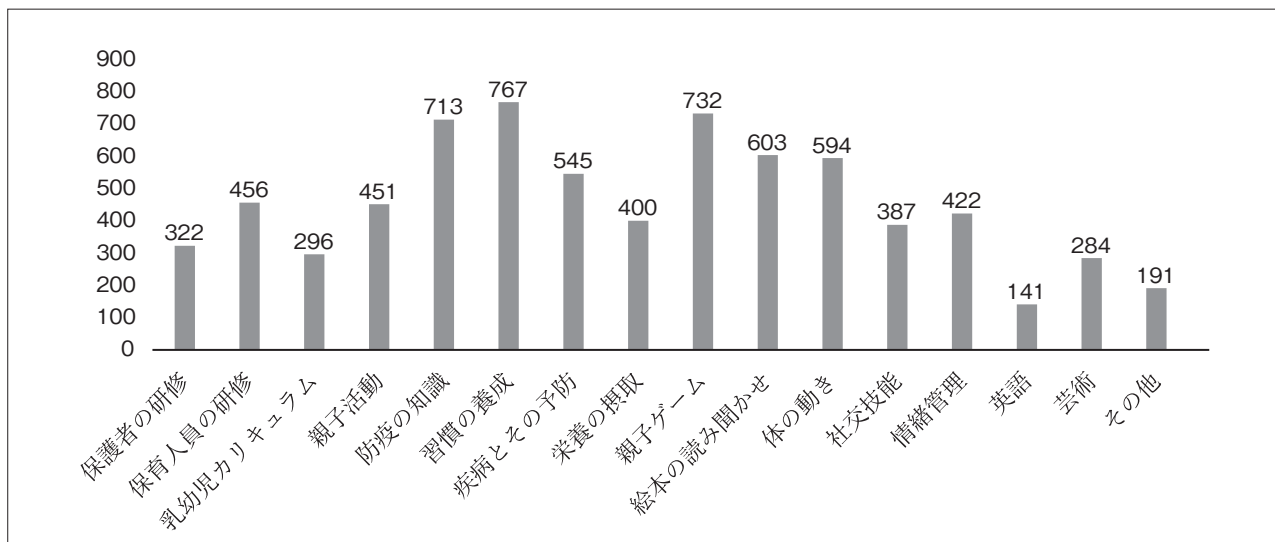


図1 中国において保育施設が行ったオンラインによる保育の内容。

出典：国家妊婦乳幼児網（2020）「新型コロナウイルス感染症の影響を受けている保育業界の発展」により、著者翻訳。

(2) 中国でのオンラインによる保育の従事者の研修、(3) 中国における保育に関わる公式アカウントの開設と保育情報プラットフォームの開発に関する公表された調査研究などを収集・整理し、分析を試みた。

(1) 中国でのオンラインによる子育て支援

2020年1月28日に、中国国家衛生健康委員会は新型コロナウイルス感染症の影響から子どもの安全を守るために、「各類型の保育施設に子どもの受け入れや保育サービスを一時停止させ、実際の状況に沿って入托の時間を変更することと、0～3歳の子ども向けの早期教育機構、親子園などの子どもに関わる施設は園内の活動を一時停止させる。インターネットをもってサービスを提供する方式を推奨する」と公布した。

この国家の公布に関する拘束力は厳しいが、サービス一時停止に伴う国家による財政的な保証は不足のため、近年開設された保育施設は、厳しい経営状況に陥った。史・劉（2020）は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている最中と受けた後に分けて保育施設が直面している課題を論じている。「新型コロナウイルス

感染症の影響を受けている最中の保育施設は、高額な家賃や職員の高額な給料、保護者からの保育料の払い戻し請求という問題に直面している。また新型コロナウイルス感染症の影響を受けた後には、保育施設の再開期日の未定や政府からの優遇政策の実施の困難さ、保育人材の確保の難しさというような状況に置かれている。そのため、保育の発展が停滞している」と指摘されている。

保育施設は施設の一時停止により、経営に多大な打撃を受けたため、団体としてこの経営危機から脱出する方法を検討することにした。「国家妊婦乳幼児網」¹は、2020年の3月4日から3月18日に、中国の保育施設を対象として、「新型コロナウイルス感染症の影響を受けている保育業界の発展」に関するアンケート調査を公表した。このアンケート調査は保育施設の名称を記入し実施された。881部のアンケート調査票を回収し、そのうち、有効なアンケート調査票は850部である。その結果

1) 「国家妊婦乳幼児網」は中国国家衛生健康委員会の指導のもとで、中国国家衛生人口文化発展センターに運営され、妊婦の家庭、母親と子どもの健康をケアするプラットフォームである。

からみると、613ヶ所の保育施設はオンラインで保育を行うことを試みている。オンラインで行った保育の内容を図1のように表している。子どもに良い習慣を身につけさせるという内容が最も多く、次に親子ゲームの支援である。

なお、範ら（2020）は、オンラインで保育を行う内容を、①安価な録画授業と生放送による公開授業、②多人数が参加可能な生放送の授業、③安価な録画授業とトレーニングキャンプ、という3つのパターンに分類している。そこではショットビデオのプラットフォーム或いは生放送のプラットフォーム²を使って、オンラインで子どもの食事、排泄、情緒の安定、生活習慣などの子育ての知識を伝えている。

つまり、中国において保育施設は新型コロナウイルス感染症の影響からの経営困難を乗り越えるために、オンラインで行える様々な保育サービスを開発し、ショットビデオや生放送で子どもを持つ子育て家庭に育児知識と親子活動などの支援をしている。

(2) 中国でのオンラインによる保育従事者の研修

保育従事者の専門性は、保育の質を確保・向上することに密接な関わりがある。韓ら（2019）は、現在の市場に存在する保育従事者を以下のように論じている。「現在の市場に存在する乳児に保育サービスを提供する者は主に保母と月嫂である。家庭で雇う保母は、子どもの月齢を問わず、日常生活で子どもをケアと家庭内の家事をする。月嫂の主な仕事の内容は生後一ヶ月の新生児をケアすると同時に、母親に子どもを養育するアドバイスを提供することである。また、産後の母親に栄養豊富な食事を提供することである。過半数の月嫂は子どもが生後一ヶ月を迎えると別の家庭に移動する。そこで、月嫂は転々と職場を変えるという流動性

が高い性格を持っている。この二つの職業は短期間の職業研修を経て仕事を始めるため、保育と教育の知識が不足している可能性がある。このため、子どもの発達に応じて適切なケアを提供することが難しいと思われる。」ということが指摘されている。

つまり、現在の市場にある在宅の乳児に保育サービスを提供するのは主に保母と月嫂である。それらは職業の研修期間が短いことと、頻繁に職場を変えることにより、育児の専門性が不足と流動性が高いという特徴があると見られる。

その一方で、保育施設における乳幼児に保育サービスを提供するのは育嬰師と保育員である。2018年の「上海市における0～3歳の子どもの保育施設に関する暫定管理方法」により、保育施設において育嬰師と保育員をクラスごとに配置することと定められている。だが、子どもの月齢によって配置される育嬰師と保育員の人数は違う。育嬰師は、2003年2月から国家労働・社会保障部が新たに設けた専門資格である。その役割は乳幼児を保育と教育することと定められている。李ら（2017）は育嬰師の養成について専門性を高める必要がある、と育嬰師の流動性が高いと指摘している。保育員は育嬰師の補助役として保育施設における生活・環境衛生・保健面の保育を担当する。育嬰師と保育員は保育施設での保育利用者との信頼関係の構築と保育サービスの質に大きく関連をしている。しかし、これらの保育の従事者は仕事が多忙で時間が取りにくいいため、なかなか保育研修を受けることが難しい。

新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもの受け入れや保育サービスを一時停止にさせることによって、多くの育嬰師と保育員などの保育従事者を休業させることになった。これをきっかけに、国家や社会において改めて保育の質に関わる保育従事者の研修とその研修を進めていく方法を検討し始めた。その方法の一つは大学と連携しながら研修の講座を開くことである。例えば、上海市で上海市開放大学が「仕事を休む、学習は休まない」という趣旨で、「幼有善育、オンライン

2) 「Tik Tok」や「快手」、「WeChat」などのプラットフォームを通してショットビデオや生放送で育児の知識を伝えている。

講座」を開講し、在宅の保育従事者に保育の研修や保育に関わる専門の知識、技術を伝えている。

つまり、中国において在宅にしても、保育施設にしても、保育従事者は保育の専門性不足と流動性高いという特徴がある。保育の質を確保・向上するために、保育従事者の研修を充実することが求められている。そのため、場所と時間には制限がないオンラインで行う研修は保育従事者の専門性を高めることに役に立っている。

(3) 中国における保育に関わる公式アカウントの開設と保育情報プラットフォームの開発

保育を促進するため、中央政府や各地方政府は在宅の子育て家庭に様々な支援策を講じた。中国国家衛生健康委員会流動人口サービスセンター³は2019年4月から「国家乳幼児保育サービス」というWeChat公式アカウントを通して、保育施設の情報や育児知識、保育の動向などの情報を提供している。また、上海市では年間に6回無料で0～6歳までの子どもがいる家庭に育児指導を行うことが定められた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で実施することが難しくなってきた。そこで、上海市における「上海市教育」や「上海市科学育児指導」、「上海市就学前の教育学網」などの保育に関わる公式アカウントを通して、オンラインで子育て家庭の親子向けに在宅でできる活動の紹介、絵本の推薦、子どもの栄養摂取などの育児情報を提供しながら子育て家庭に育児の支援を行っている。

また、保育施設や保育の関係者はWeChatグループやQQグループなどのSNS方式で保育に関わる保護者、保育施設の従事者、保育の専門家などの保育に関心を持っている者が集まってグループを作り、その場を通して、保育制度・政策の情報や子育ての悩み、育児の知識な

どを交流することが実現された。

なお、保育情報の検索機能を果たす保育サービス情報プラットフォームの開発も新型コロナウイルス以前の子育て支援として行われている。例えば、2018年に上海市托幼工作联席弁公室⁴が「上海市における0～3歳の子ども保育サービス情報プラットフォーム」を開設した。このプラットフォームは、保育施設申請の流れ及び保護者向けの保育施設の情報検索などの機能を果たしている。

保育施設の申請の流れについては、保育施設の運営ライセンスを取得するために必要な書類とそれに関わる制度政策などが記される。保育施設を運営しようとする者に保育施設の申請の流れを分かりやすくに解説した。

保護者向けは地域の住民たちが在宅で各保育施設の分布、給食の提供の仕方、保育料などの保育のサービスを調べることができる。保育施設の分布の検索方法は二つに分けられている。上海市の地図からと保育施設の類型別から調べることができる。例えば、上海市にある区を選択して、その区に開設された保育施設の情報が表される。あるいは、保育施設の類型別から検索をかけると、営利型、非営利型保育施設⁵及び福利型保育施設⁶が表される。各コミュニティに居住している子育て家庭に対して、保育施設を利用しようとする際に、簡単に速やかに保育施設の情報を把握することができる。

つまり、中国において、様々な保育に関わる公式アカウントが開設された。それを通して保育に関心を持っている者は保育の情報を簡単に入手することができよ

3) 中国国家衛生健康委員会流動人口サービスセンターは中国国家衛生健康委員会に管轄され、流動人口の健康・衛生、保育施設の開設への協働などの役割を果たしている。

4) 上海市托幼工作联席弁公室は上海市における教育部をリーダーとして、衛生部、消防などの16部門からの専門家を集めての組織である。

5) 営利型保育施設は非国家財政経費及非寄付資産に設立され、工商部門（市場監督管理）に会社制法人を登録するとされている。非営利型保育施設は営利を目的にせず、非国家財政経費に設立され、業務管轄単位の許可を得てから民政部門に民営非企業法人を登録するとされている。

6) 福利型保育施設の保育料が0円である。2020年年末時点で、上海市における0～3歳の子どもの保育サービス情報プラットフォームに登録されている福利型保育施設は一ヶ所のみである。

うになった。またインターネットで作られたグループチャットを通して、保護者は保育専門家との交流ができ、保護者らの間にお互いに子育ての情報交換することが実現できた。さらに、保育利用者はプラットフォームに登録された情報を検索することによって、保育施設の情報を簡単に速やかに得るようになった。そこで、保育にICTを活用していると考えられる。

3. 保育にICTを活用することへの課題

以上、中国の保育におけるICTの活用を(1)オンラインで子育て家庭に育児支援、(2)オンラインによる保育従事者の研修、(3)中国における保育に関わる公式アカウントの開設と保育情報プラットフォームの開発からICTをどのように保育に活用されたかを整理し、論じた。

その結果、中国において保育施設は新型コロナウイルス感染症の影響による経営困難を乗り越えるために、オンラインで行える様々な保育サービスを開発し、ショットビデオや生放送で子どもを持つ子育て家庭に支援をしている。また、場所と時間には制限がないオンラインで行える保育の研修は実現することができた。さらに子育て家庭に支援、地域間、業種間で繋がって情報交換が実現できた。そのメリットを認める一方で、保育にICTを活用する課題も顕在するようになっていることが明らかになった。

保育にICTを活用する課題は次の3点のように明らかになってきた。

第1に、オンラインで子育て支援を行うことによって、確実に子育てに関する情報を伝えることができた。親子の活動を支援することができると思える一方で、子どもは長時間でスクリーンを見ることによって、子どもの発達に影響が出る恐れがあると考えられる。また、遠隔で子育て支援、絵本を読み聞かせとかをする際に

は、保育者が子どもの表情をはっきりと把握しにくいために丁寧に対応する難しさがある。そうしたことに、保育者の専門性が追いついていないと考えられる。

第2に、保育者の研修はある程度にオンラインで実現することができる。例えば、オンラインで慣れないテレワークの交代やクラス会議、保育の勉強、マニュアル作りなどのことが研修を行える。しかしながら、サービスの提供者としての保育者は実技の部分はオンラインで研修の実現はなかなか難しいと考えられる。

第3に、現在、保育に関わる様々な公式アカウントの開設がされ、保護者は保育に関する情報を取得するために、それらの公式アカウントに個人情報を登録して使用できることが多い。こうしたことによって、個人情報をもどのように保護するかということが課題として考えられる。

以上のことから、保育にICTを活用するにはメリットとデメリットが併存していることが見られる。そこで、今後保育にICTを取り組む際に、子どもの最善の利益を優先し、子どもの権利を守る上に保育従事者の専門性を高めることが望まれる。また個人情報を守ることができるような安心・安全なネットワーク環境の実現をしながら保育にICTを促進し活用していくかが課題として確認された。

参考・引用文献

- 史毅・劉鴻雁(2020)「保育施設の持続可能の発展に関する思考と意見」『人口及び健康』NO.9.16-18.
- 範明麗・李聰聡(2020)「新型コロナウイルス感染症の影響で保育施設の挑戦と対応」『教育観察』第9巻第16期. 6-8.
- 韓春華・ほか(2019)「インターネットを用いた居宅での乳幼児ケアの可能性研究」『知庫時代』254-258.
- 复旦大学公共衛生学院保育研究課題組と国際救助児童会(イギリス)北京代表処(2020年6月)「上海市における0～3歳の乳幼児のケアサービス現状の分析研究報告」.
- 李沛霖・ほか(2017)「発達地域における0～3歳子どもの保育サービス市場への調査と思考-南京市を例として-」『南方人口』NO.2-32.71-80.

参考・引用URL

- ・ 中華人民共和国中央人民政府ホームページ。
「http://www.gov.cn/zhengce/content/2019-05/09/content_5389983.htm」(2021年1月25日アクセス)。
- ・ 中華人民共和国国家衛生健康委員会ホームページ。
「<http://www.nhc.gov.cn>」(2021年1月11日アクセス)。
- ・ 上海市人民政府ホームページ。
「<https://www.shanghai.gov.cn>」(2021年1月20日アクセス)。
- ・ 上海市における0～3歳の子どもの保育サービス情報プラットフォーム。
「<http://age03.edu.sh.cn/ssearch.aspx>」(2021年1月23日アクセス)。
- ・ 上海市開放大学「幼有善育、オンライン講座」。
「<https://www.sohu.com/a/>」(2021年1月22日アクセス)。